

# 環境と健康

平成30年4月11日、当会と公益財団法人島根県環境保健公社は、災害時における相互支援に関する協定書の

## 災害時の水質検査体制の確立へ 島根県環境保健公社と協定締結

同様の協定は、平成28年4月に株式会社北陸環境科学研究所と締結しています。また、昨

調印式を行いました。これは、飲料水検査について、災害が発生し、検査施設に影響が生じた場合、互いに支援しあつて検査が継続できるように事前に取り決めを行うものです。



島根県環境保健公社の田中常務と佐藤理事長

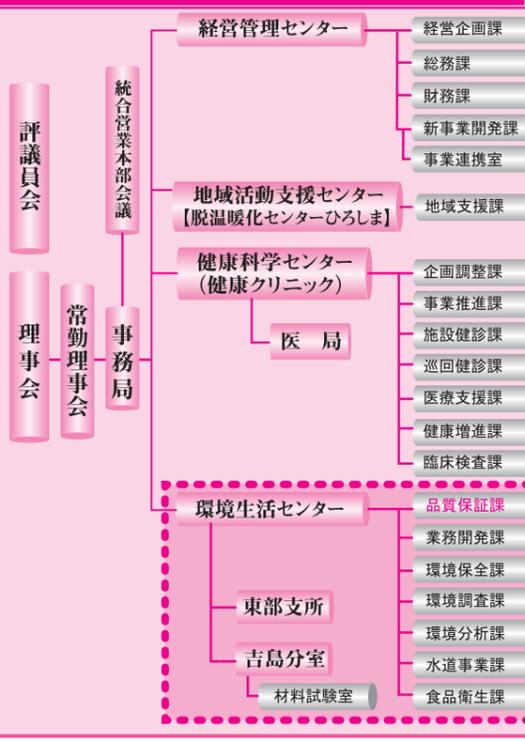
年の3月には、材料試験では、当会と公益財団法人岡山建設技術センター及び公益財団法人鳥取県建設技術センターの三者で、同様の協定を締結しています。

近年、地震や豪雨など大規模な自然災害により、水道施設が被害を受け、断水が発生する場合があります。このような災害時には、飲み水の安全を確認することが、少しでも早く日常生活を取り戻すことにつながります。この度の協定により、災害時でも水質検査の継続的な実施体制を整えることで、安全・安心を提供するための体制強化が図れるものと考えています。また、

支援の内容は、「応急物資の調達」、「人員の派遣」、「試験検査業務の代替遂行」としています。これまでも人的交流を行ってきた両者ですが、協定締結を機に層連携を強化していく予定です。

飲料水は、人の生活に欠くことのできないライフラインです。その飲料水の安全・安心な提供に資することができます。必要対策を講じていきたいと考えています。

### 一般財団法人 広島県環境保健協会の組織



## 精度管理強化と変化に強い組織へ 環境生活センターを組織改変へ

環境生活センターは、精度管理の強化に向けた組織改編を行いました。受付や成績書発行、請求事務を行っていた業務管理課を解体し、分析精度を管理する品質保証課を新たに設け、精度管理の強化を推し進めて企業価値の向上を目指します。また、分野ごとに課室を再編成し、分野別に受付から成績書発行までの業

務を二元的に管理する体制を組み、業務フローを見直し、お客様のニーズに迅速に対応できる体制づくりに取り組んでいます。

現在は、食品、飲料水、環境、材料等に関連する検査・分析やコンサルtant業務を行っています。検査・分析業務は、分野ごとに所轄官庁があり、精度管理の方針

が定められています。これまでの、主にISO9001(品質マネジメントシステム)を運用し、PDCAサイクルを回しながら品質向上や顧客満足度の向上に取り組んできました。近年、化学物質が年々増加する中で、検査分析機器の自動化・高度化が著しく、技術面を主体とした品質管理システムの規格整備も進められ、所轄官庁は精度管理を強化する方針にあります。

このような社会的動向に対応し、それぞれ

の検査・分析分野で、精度管理に係る認証取得を進めてきました。飲料水の分野では日本水道協会認定の優良試験所規格である水道GLP(Good Laboratory Practice)を、材料試験、食品分析の分野では国際認証であるISO17025の認定取得に取り組んできました。

これからの専門性を活かしつつ、これまで以上に確実で良質なサービスが提供できるよう努めます。

### きんせんか 琴線歌

食べ物のおいしさには外観、色調、食感、香り、味など、さまざまな要素が関係しています。そこで焼き海苔のおいしさについて、うま味成分から考えてみたいと思います。うま味成分には大きく分けてコブに含まれるグルタミン酸ナトリウム(アミノ酸)とかつお節のイノシン酸(ヌクレオチド)があります。海苔独特の味(おいしさ)はうま味成分のアミノ酸やヌクレオチドが関わっています。

### 焼き海苔は、なぜおいしい?

市販の乾海苔、焼き海苔の製品に含まれるアミノ酸やヌクレオチドなどの成分はノリの栽培条件、生理状態、製造過程の保存、加工・乾燥条件、乾海苔の保存・火入れ・焙焼条件などの要因で変動することがわかっています。例えば遊離アミノ酸の分析の結果、グルタミン酸量は360~3100mg/100gと変動がみられますが、その主体はうま味アミノ酸の割合が多く

なっています。筆者らが酵素法によって定量した結果、乾海苔・焼き海苔のグルタミン酸量は産地(有明海や瀬戸内海)、採摘時期、メーカー(処理加工・焙焼条件)によって違いが認められました。一方、海苔の旨味成分分析で乾海苔を水に浸漬すると試料中のアデニン酸含量の低下に伴い、多量のイノシン酸(140~1800mg/100g)が検出されることが報告されています。このことはアデニン酸デアミンナーゼ(AMPD)という酵素反応が関与しており、口の中でも海苔が唾液により浸漬され、イノシン酸が生成されることを示しています。実際に乾海苔や焼き海苔においてもAMPDの高い酵素活性が検出されていることから、焼き海苔がおいしいのは、うま味成分であるグルタミン酸とイノシン酸のうま味の相乗効果によるものであるといえます。

(福山大学 生命工学部 三輪泰彦)



## 一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)  
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~  
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。



平成30年度地区衛生組織活動資金募集(環境・健康募金)事業スタート

地域の「環境づくり」「健康づくり」の財源にご理解・ご協力をお願いします

地区衛生組織活動資金募集は、「私たちの地域は私たちの手で」という思想のもと、地域ぐるみの公衛協活動を行うための活動資金を集めるものです。昭和35(1960)年2月、広島県公衆衛生大会において世界保健デーの4月7日を「健康感謝の日」と定めて以来、毎年募金活動を実施し、平成30年度で第59回を迎えます。

集められた募金は、各市町の公衛協・環境協・事務費に配分され、さまざまな公衆衛生活動に役立てられます。配分基本額は世帯数を元に設定し、公衛協に配分基本額の70%+配分基本額を上回る募金額を、環境協と事務費はそれぞれ配分基本額の25%と5%を配分しています。

市町公衛協に配分された募金は、ごみの減量化と分別・リサイクル活動の推進、地域清掃・美化活動、脱温暖化普及啓発活動などの環境づくり事業や、食育、ウォーキング、献血、がん検診受診勧奨などの健康づくり



事業に活用されています。募金の用途は公衛協によって異なりますので、詳しくは各市町の公衛協事務局へお問い合わせください。

環境協配分金は、公衆衛生推進手帖の作成、全県共通事業の「公衛協発・ひろしま美化大作戦」、「1万人のエコチェック事業」、「1万人の食チェック事業」、「公衛協発ウォーキング事業」、「がん検診へ行こうよ!キャンペーン事業」の活動支援グッズの作成、公衛協のリーダー養成研修、学習教材の貸し出しなどに活用しています。

事務費配分金は、募金事業を展開するためのPR用ポスターやチラシ、募金回収袋の作成、振込手数料などに充てられています。

みなさまからお預かりした募金は、地域の公衆衛生活動のために使われ、コミュニティの「環境づくり」と「健康づくり」に役立てられています。募金の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

人材の育成と教材の開発に注力

平成30年度地域活動支援センター事業概要

地域活動支援センター・脱温暖化センター・ひろしまは、環境協の公益事業部門として、公衆衛生推進協議会(以下、公衛協)を主体としたコミュニティにおける健康づくり、環境づくりの支援を行っています。第2期中期

経営計画(平成28~30年度)の3年目となる平成30年度は、最終年度として「コミュニティの向上」環境協のミッション「遂行」を実現するため、「ヒト」「モノ」「カネ」「シクミ」の視点で中期的な事業展開を図

るとともに、第3期中期経営計画(平成31~34年度)の策定に取り組みます。

①公衆衛生活動の支援 平成28・29年度に続き、人材養成(基礎研修、専門研修)、中堅推進委員が活躍できるしくみづくり(規約の改正)、県内共通事業重点メニューの実施支援や健康づくりメニューの開発・充実、地域活動

②地球温暖化対策の活動支援 地球温暖化防止活動推進員の養成・育成に取り組みほか、地球温暖化防止活動

③情報発信 関係団体の活動実績を収集して共有・活用を促進しつつ、公衛協や地球温暖化対策地域協議会などの連携を図り、公衆衛生活動の情報発信に努めます。

基本的取り組み方針の推進イメージ



平成30年度主要な会議及び研修スケジュール

スケジュール表: 月、日、事業名(開催場所)のリスト。4月26日(木)から12月15日(金)までの日程が記載されている。

①公衆衛生活動の支援 平成28・29年度に続き、人材養成(基礎研修、専門研修)、中堅推進委員が活躍できるしくみづくり(規約の改正)、県内共通事業重点メニューの実施支援や健康づくりメニューの開発・充実、地域活動

②地球温暖化対策の活動支援 地球温暖化防止活動推進員の養成・育成に取り組みほか、地球温暖化防止活動

③情報発信 関係団体の活動実績を収集して共有・活用を促進しつつ、公衛協や地球温暖化対策地域協議会などの連携を図り、公衆衛生活動の情報発信に努めます。

公衛協の代表的な事業になった環境と健康のコミュニティ活動助成事業は、応募しやすくなるように実施要領を改善しました。引き続き多くの公衛協のご参加をお待ちしております。

公衛協の代表的な事業になった環境と健康のコミュニティ活動助成事業は、応募しやすくなるように実施要領を改善しました。引き続き多くの公衛協のご参加をお待ちしております。

# 平成29年度全県共通事業重点メニュー報告

全県共通事業重点メニューは、支部・地区・学区公衛協で実践できるプログラムで、積極的に地域の公衆衛生活動に取り入れていただきたい事業です。

また、重点メニューには、環境・健康募金の環境協配分金の一部を充てて作成している活動支援グッズがあり、これらの活用を通じて募金事業への理解も促しています。

## 万人のエコチェック事業 実践率は微増。地域活動への広がりに期待

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費するエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度から継続しています。

内容は、8月分の検針日に含まれる約1カ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見えて、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標としています。

平成29年度は実践率40.3%となり、前年比で0.3%微増しました。2年に1度委員の改選があると仮定すると、これまでに1万3千242人が電気使用量のお知らせが読めるようになりました。

## 公衛協発「ひろしま美化大作戦」 県内で15万人が美化活動に参加

次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に、地域清掃・美化、水質改善・保全、里地・里山づくりの3テーマの取り組みを支援するもので、平成23年度から継続しています。

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすこともねらっています。

昨年度は、公衛協が関わる事業が、延べ430回展開され、15万3千403人が参加しました。支部・地区学区単位では、まだ報告されていない事業もあると考えられますので、引き続き公衛協の活動成果の見える化が課題です。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共有し、豊かな瀬戸内海を旨とします。

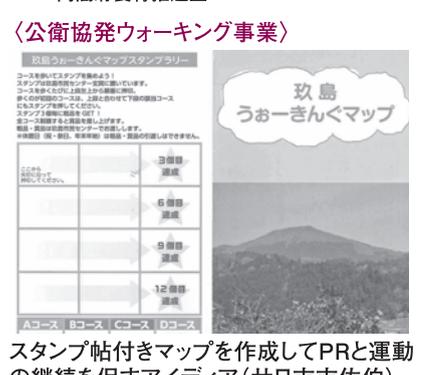
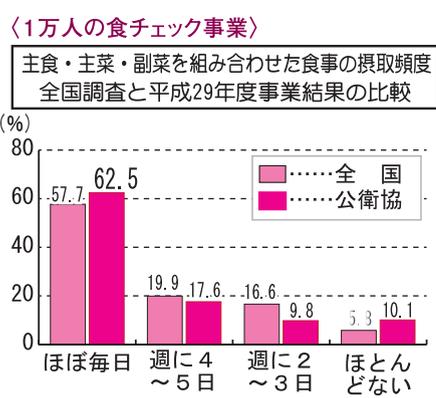
## 1万人の食チェック事業 記録方法変更で実践率UP

健康維持を目的に、公衆衛生推進委員自身が食生活の傾向を知り、バランスの取れた食事づくりにつなげる事業

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすこともねらっています。

昨年度は、公衛協が関わる事業が、延べ430回展開され、15万3千403人が参加しました。支部・地区学区単位では、まだ報告されていない事業もあると考えられますので、引き続き公衛協の活動成果の見える化が課題です。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共有し、豊かな瀬戸内海を旨とします。

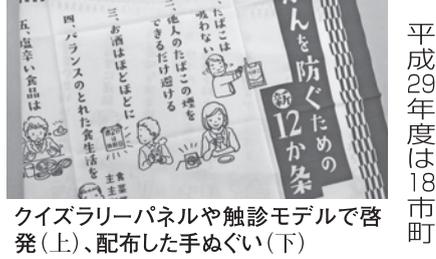


健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習

で、目標とする70%に届きませんでした。平成30年度は、29年度と同様の目標を掲げて達成に取り組みます。

**公衛協発ウォーキング事業 6つの事業が初申請**

健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習



平成30年度は、全ての公衛協でキャンペーン事業ができるよう、働きかけます。当協会HPから各事業の実施要領をご確認いただき、積極的に活用して地域の環境・健康の向上、公衛協活動の活性化にお役立てください。

健康維持を目的に、公衆衛生推進委員自身が食生活の傾向を知り、バランスの取れた食事づくりにつなげる事業

実践率は38%で、前年度より2%増加しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62%

健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習

で、目標とする70%に届きませんでした。平成30年度は、29年度と同様の目標を掲げて達成に取り組みます。

**公衛協発ウォーキング事業 6つの事業が初申請**

健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習

健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習

健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習

健康心ろしま21では、日常的な歩数の目標として男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習

## 各種研修会で推進委員の力量アップ 動画で基礎研修の開催を後押し

地域活動支援センターは、1年を通して公衆衛生推進委員を対象とする研修会を開催しています。今回は、「基礎研修」「専門研修」について紹介します。

### 〈基礎研修〉

基礎研修は、公衛協が主催し、新任の推進委員を主な対象として「公衛協はどんな団体か」「推進委員の役割」「主な活動内容」「活動資金源である環境・健康募金の仕組み」などについて、『2018 公衆衛生推進手帖』を使って学習します。

講師は、公衛協の要望に応じて環境協から職員を派遣していますが、最近では公衛協会長や役員、事務局が講師を務めて独自に開催するところも多くなっています。

研修の単位は市町が基本ですが、支部・地区・学区など、コミュニティレベルでの実施をお勧めしています。支部・地区・学区でも容易に開催できるよう、環境協職員が講師を務める研修の様子を収録した動画を作成し、ホームページ等で公開しています。動画は4つのパートに分かれており、いつでも・どこでも・何人でも研修でき、何度でも学

習できます。基礎研修を総会で実施するだけでなく、会議や公衛協の事業で、動画を使った研修に挑戦し、公衛協活動の理解を広めていきましょう。

### 〈専門研修〉

専門研修は、環境協が主催し、あるテーマに基づいて専門的な知識や技術の習得を目的に開催しています。今年度は「広報・ツールづくり」「企画づくり」「ごみ減量・3R」の3テーマで研修を予定しています。

研修に参加する際の旅費は当協会が負担しますので、推進委員だけでなく、今後公衛協活動に協力してくれそうな人、興味・関心がある人に声を掛けて、参加してもらえるよう働きかけをお願いします。

各研修の詳細は、開催日の1カ月~2週間前までに市町公衛協事務局に連絡します。ぜひご参加ください。



基礎研修(上)、専門研修「広報・ツールづくり」コース(下)

# 水道の安全を守る技術者を育成

## クリプトスポリジウム検査実務者研修会を開催



下痢などを引き起こす5ミクロン程度の微生物です。当協会では、県内の水道水、水道水のもとになる河川水や井戸水などを対象にクリプトスポリジウムの検査を行っています。

微鏡観察などの複数の工程からなり、検査担当者の力量が検査精度に大きな影響を及ぼします。

当協会では、例年、

みなさんはクリプトスポリジウムと呼ばれる微生物をご存知でしょうか。クリプトスポリジウムは、水を介してヒトや動物に感染し、

クリプトスポリジウムの検査は、10倍と比較的多量の水の中から2つの粒子を見つけ出す検査です。そのため、検査は濃縮、精製、顕



23年度からクリプトスポリジウム検査指導機関の認定を受けています。研修会では、国立感染症研究所の遠藤卓郎名誉所員より、水を介した感染症の概要やクリプトスポリジウムの検査方法などについて講演をいただきました。また、受講者は、実技の中で、日頃の操作における問題点を洗い出し、各工程のポ

担当技術者のレベルアップを目的として、クリプトスポリジウム検査の実技研修会を開催しています。平成29年度は、3月2日から3日間、実際に検査に携わっている方々を対象に開催しました。本研修会は、水道水質検査機関が会員団体である(一社)全国給水衛生検査協会の主催で、当協会は平成



### ⑦ 矢野水産株式会社



認定日:平成30年1月31日  
所在地:東広島市安芸津町  
風早653-145(大芝島工場)  
創業:昭和33年10月  
話し手:代表取締役  
矢野 勝利 様

その時に第三者機関から、取り組みを担保してもらえ、県の制度を知り、自信と裏づけを持って衛生管理を行っているPRができるようにと挑戦しました。

間管理や洗浄槽の水温、冷蔵庫の温度などを定め、マニュアルにまとめて管理、記録しています。

をお届けするという責任感や自信といった志の部分でモチベーション向上につながったり、新しい契約の話が進むなどの成果が出ています。

## 鮮度の良さを自慢に

### 衛生管理のポイントは温度管理

■業務内容  
かきの養殖とむき身を中心に卸しを行っています。養殖と加工を一元的に行えるので、鮮度が自慢です。

■取り組み  
衛生管理には気をつけてきましたが、この方法で間違いないか、より効率的な方法や効果の高い取り組みはないかと思っていました。

■自ら設定した衛生管理のポイント  
なんとといっても、温度管理です。鮮度を保つて商品をお届けするために、水揚げから冷蔵庫に入れるまでの時

当社の衛生管理を説明しやすくなりました。認証取得証を提示できるので、自信を持って衛生管理の取り組みを伝えられます。社内では、安全・安心な

「旨いかきは、良い海から」という思いで自信を持ってかきを育て、鮮度を落とさないよう自信を持って加工をしています。

環境保健協会創立60周年を記念する感謝事業で、各市町公衛協が実践活動で使う備品を寄贈しました。寄贈した備品は、テントや看板、カメラ、蜂の防護服、健康運動器具など多岐にわたり、それぞれの公衛協で展開されている実践活動にお役立ていただいています。今回は2つの活用事例を報告いたします。



⑳ 寄贈品の活用状況

## 実践活動に役立つ備品を寄贈

### 坂町公衛協・江田島市公衛協



大きな看板を設置しリサイクルを呼びかける(左) ウィンチでゴミを引き上げて回収する(右)

#### 【坂町公衛協 看板作成】

坂町公衛協には、リサイクルにかかる看板を作成して届けました。

看板は910mm×1820mmの大きなもので、公衛協が取り組むリサイクル推進事業への理解と参加を促すことをねらいに、イベントの際に利用する食品容器のリサイクルに協力を求める内容になっています。

3月25日に第7回坂町悠々健康ウォーキングが開催

され、公衛協はゴール地点でカキ雑炊をふるまうと同時に、剥離型容器の使い方を説明し、分別指導を行いました。

当日は1,170人が参加し、今年も多くの方にゴミ減量やリサイクルへの協力を呼びかけることができました。

#### 【江田島市公衛協 ウィンチと発電機】

江田島市公衛協には、電動ウィンチと発電機を届けました。

これは、不法投棄ごみの清掃活動の際、がけ下に集めたごみの引き上げに利用されます。1月～2月の間に、不法投棄ごみ回収事業が2度実施され、約660kgのごみが集められました。「いただいたウィンチと発電機が大活躍!」と、江田島市公衛協からお喜びの声が寄せられました。

(地域活動支援センター)

ントについて学んでいたことができました。さらに、今回の研修会では、県立広島大学の学生がインターンシップとして参加しました。

研修会を通じて、専門知識だけではなく、学校では学ぶことのできない検査現場で働くイメージが持てたのではないかと思います。

当協会ではこれからも水の安全を守るために、検査を通じて社会貢献できるよう取り組んで参ります。(食品衛生課)

記事:馬場田

『瀬戸内における水環境を基調とする海文化』の取り組みについて ⑤

海に関する行事や習慣を伝承

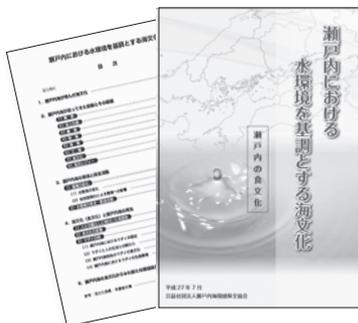
航海安全祈願、豊漁祈願などに分類



食文化に続き「瀬戸内の伝統行事」について、冊子にとりまとめました(平成28年3月)。



各地のさまざまな伝統行事105件が紹介されています。



『瀬戸内の食文化』は、公益社団法人瀬戸内海環境保全協会のHPからダウンロードすることができます。

海文化に取り組み、最初に冊子にまとめたのが『瀬戸内の伝統行事』です(平成28年3月発行)。

【備讃瀬戸】 鞆の浦観光鯛網(福山市)、鞆の浦のお手火神事(福山市)

【燧灘】 吉和太鼓おどり、棕浦(むくのうら)の法衆おどり、津部田(つぶた)住吉祭りの曳船、岩子島(いわしじま) 厳島神社管弦祭(以上、尾道市)、浮鯛祭り(三原市)、権伝馬(かいでんま)(大崎上島町)、能地春祭のふとんだんじり(三原市)

【安芸瀬】 柏島の管弦祭(柏島神社大祭)(呉市)

【広島湾】 瀬保姫(にほひめ)神社の獅子舞(広島市)、阿多田神社秋季例大祭(大竹市)、朝鮮通信使再現行列(呉市)、くらはし遣唐使船まつり(呉市)、厳島神社管弦祭(廿日市市)、坂八幡神社秋祭りの寄進物「曳船」(安芸郡坂町)

その内容は、火祭り、弓祈禱、管弦祭、舟競漕など、海に関する珍しい行事や習慣が伝承されています。

瀬戸内海を代表する海の祭り」と、また、鞆の浦のお手火神事(福山市)は、「沼名前神社で行われる祇園祭の神輿渡御(7月第2日曜)の前夜に行われる清めの神事で近世から周辺商人・漁民が多く参加してきました。」と紹介されています。

公益財団法人 瀬戸内海環境保全協会

話題の健康づくり

アラカルト

② ウォーキング

歩きに勝る良薬はなし

ロコモティブシンドロームの予防へ

「歩きに勝る良薬はなし」と、医学の父、ヒポクラテスは言いました。ウォーキングは、有酸素運動であり、脂肪をエネルギー源とするため、生活習慣病の

1日の歩数は、8千歩、慣れたら1万歩、時間は30〜50分が目安です。主な注意点は、転倒予防・水分補給・ウォーキング前後のストレッチです。転倒予

補給が大切です。ウォーキングの前、ウォーキング中も10〜15分おきに水分を補給しましょう。ウォーキングの前にアキレス腱・ふくらはぎ・太ももを

中心に、軽くストレッチをして筋肉を伸ばしておくことで、筋肉の柔軟性が増して、効果的なウォーキングができます。怪我の予防にもなります。ウォーキング後に

いつまでも自立した人生を送ることは誰もが望むことです。人が運動器に支えられて生きています。バランスのよい食事と、適度な運動を心がけ、健康寿命の延伸を目指しましょう。

(健康増進課 品川祐子)



クールダウンをし、筋肉痛や疲労の蓄積を防ぎましょう。自分の体とよく相談して決して無理はしないように。なお、心臓病、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満、関節の痛み、指摘がある場合は運動を始める前に医師に相談しましょう。



15 研究発表

当協会から3名の技術者が発表 第52回予防医学技術研究会議

予防医学技術研究会議は、検査・健診・保健指導への予防医学という理念の導入や技術、指導における研鑽と開発を目的として、予防医学事業中央会の全国33支部から、医療関係の関連業者など総勢250名が参加しました。

昨年2月、公益財団法人予防医学事業中央会と当協会が主催した「予防医学技術研究会議」(広島市内開催)は、平成29年度は公益財団法人長崎県健康事業団が主催し、長崎市内で、2月22・23日に開催されました。

第52回を迎えた会議では、過去



【当協会が実施した研究発表】

Table with 2 columns: 研究分野 (Research Field) and 発表内容 (Presentation Content). Rows include 健康支援 (Health Support), 労働衛生 (Occupational Health), and 全体討論 (General Discussion).

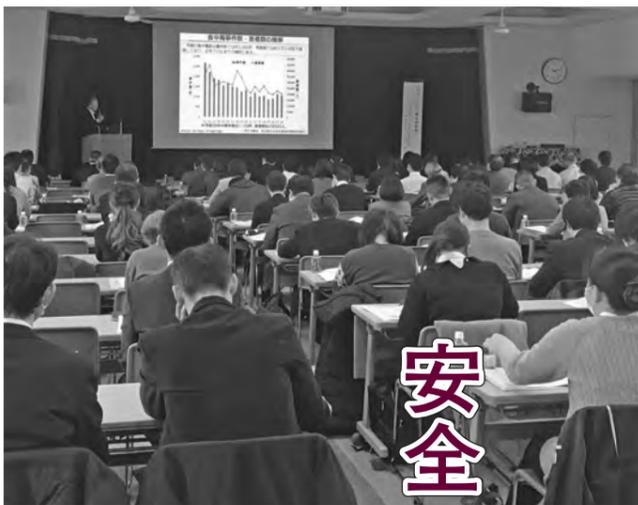
最高であった前回の91題を上回る105題の研究発表が行われ、教育講演では長崎大学大学院の芦澤和人教授から「本邦における肺がん検診の現状と課題」と題して、肺がん検診の最新情報について興味深い講演がなされました。

当協会は、下表のとおり3つの研究発表を行いました。最終日に行われた全体討論では、当協会の上本師長がパネリストを務め、当協会で開催している医療安全の取り組みについて、各都府県支部と意見交換を行いました。

全国規模の会議に参加することにより、他の団体の取り組みや運営方法などを参考に知見を広げ、安全・安心な医療体制を更に充実させるとともに、技術力の向上による高いレベルのサービスを提供できるよう努力を続けていきます。

(健康クリニック)

# 専門家を育成する研修が開催 水道分野全般にわたる”水みらいアカデミー”



小久保先生による公演を熱心に受講する参加者

水みらい広島は、広島県企業局と株式会社水ingの出資で設立されました。この水みらい広島が、水道の専門家を育成し、広島県

内に水道の技術力を維持・継承することを目的に、平成28年度から水道の専門的な研修として「水みらいアカデミー」を毎月開催しています。テーマは「水道技術者としての心構え」「浄水処理」「ポンプ、バルブ、配管、電気などの構造、修理」「水質事故」「公営企業会計」「水道の維持管理」「水質管理」など水道分野全般について、多岐にわたっています。



受講者同士が意見を交わすグループワーク(上) 器具を使った実技(左)

## 安全・安心へ情報発信

### 食品事業者など138人が参加

食の安全・安心をテーマに毎年実施している『食のセミナー』を2月21日に開催しました。当日は、食品事業者、行政関係者など138人の方が参加してくださいました。

今年、公益社団法人日本食品衛生協会技術参与の小久保彌太郎先生に「HACCPと微生物制御」と題し、食品の安全管理における微生物管理の重要性をご講演いただきました。

続いて、厚生労働省中国四国厚生局健康福祉部食品衛生課課長の江崎真澄先生に「食品衛生法等の改正について」と題し、HACCPの制度化や

食品用器具及び容器包装の衛生規制の整備などについて、ご講演いただきました。参加者からは、「微生物管理の重要性についてよく理解できた」、「今後の仕事に役立てたい」等のご意見をいただきました。当協会はこれからも食の安全と安心のための情報を発信してまいります。

合わせて、当会は「水質管理」について講義を担当しています。平成28年度は「かび臭」「ミ」を毎月開催しています。テーマは「水質事故」「水質管理」など水道分野全般について、多岐にわたっています。



## 当会がHMカード発行機関へ 広島県が医療情報の共有へ普及を促進

トが加算され、さまざまな割引制度があります。これまでは一部の行政窓口、指定の病院や薬局などでカードを発行

広島県では、県と広島県医師会が運営する医療情報ネットワーク「HMネット」を利用するための認証カードである「HMカード」の普及を進めています。このカードでは、加入している医療施設相互の情報共有や薬局における投薬の履歴、災害・救急時の緊急連絡先などの情報を三元的に管理しています。

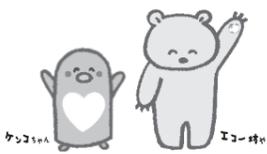
また、健康維持に役立つための特典としてポイント



協会にお越しの際に、人間ドックの窓口および地域活動支援センターにお声掛けいただきましたら、手続き書類に記入の後、カードを発行いたしますので、ご利用ください。なお、発行するカードは、右側のものになります。3月末までの期間限定のカードのデザインカードが、人気のため追加作成されました。希望される方はお早めにお申し出ください。

することができましたが、平成30年4月からは、当協会が新たに発行機関に加わり、カード発行が可能となりました。

## 平成29年度 地区衛生組織活動資金募集



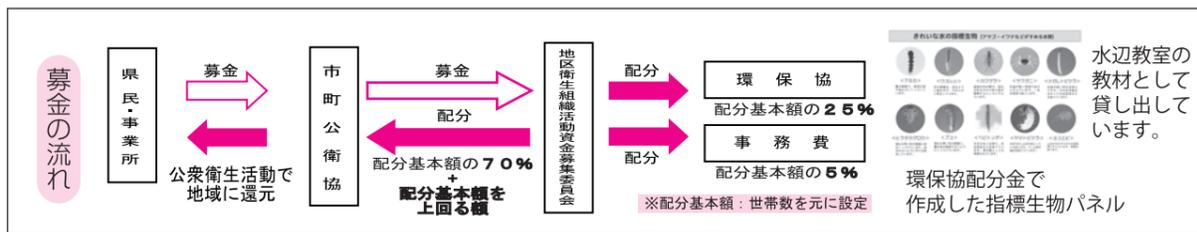
通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金は、昭和35年から実施し、平成30年度で58回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円) **56,540,991** (平成29年度年間実績)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,668,600	100.1
海田町	2,416,402	100.7
熊野町	1,442,870	100.6
坂元町	370,110	98.9
江田島市	1,829,500	98.7
竹原市	1,652,400	98.4
大崎上島町	317,100	93.0
大竹市	2,523,080	99.5
廿日市市	3,397,116	100.3
廿日市市大野	2,505,050	99.1
廿日市市佐伯	411,052	100.0
廿日市市吉和	56,700	107.0
廿日市市宮島	193,100	94.8
安芸太田町	738,500	97.8

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,084,900	99.1
安芸高田市	2,060,800	96.2
東広島市	4,266,990	95.1
三原市	1,681,220	95.1
世羅町	859,400	94.5
尾道市	4,453,700	99.4
福山市	8,688,844	97.6
府中市	1,090,714	99.5
神石高原町	353,000	121.6
三次市	2,389,275	96.6
庄原市	2,429,040	96.4
呉市	7,593,074	97.8
その他	68,454	124.0
合計	56,540,991	98.1



市町別一覧表

※この表は、平成30年3月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。